

話題商品

ホート ローチモニタークリアー



報告書作成に
威力を発揮

ハウスが透明だから
捕虫結果の撮影
もラク。



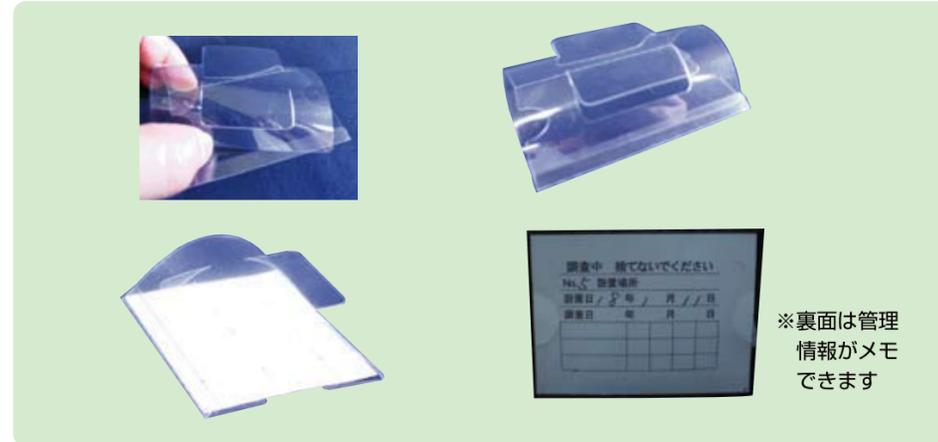
ハウスが透明だから
このままで捕獲状態
がわかる。



ハウスは再利用できるから経済的

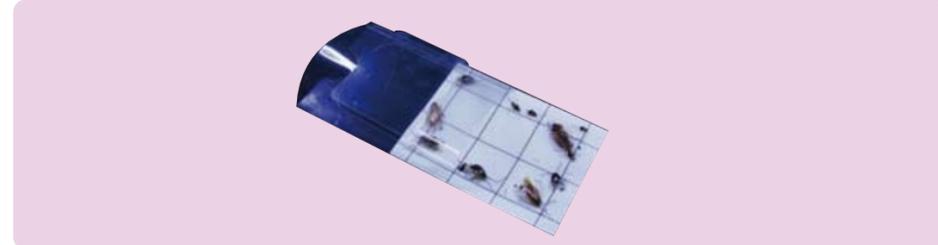
ホート ローチモニタークリアーで調査が簡単

1 ワンタッチでハウスを組み立て、粘着シートをセット



※裏面は管理
情報がメモ
できます

2 交換は粘着シートを引き出して



3 新しい粘着シートの透明カバーを引き出した粘着シートに被せます



※新しい
粘着シートは
ハウス

※回収した
粘着シートは
持ち帰り

ホート
ローチモニタークリアーセット

ハウス500 + シート500
ハウス:W80mm×D60mm×H約16mm
シート:W77mm×D58mm

0000364

ホート
ローチモニタークリアーシート

シート1000

0000365

ナカさんにおまかせ!

知っておきたいIPMの基礎“捕獲指数”

IPMでは、調査・モニタリング、そして結果を知らせる報告書が大切です。捕獲数は、トラップの設置日数によって変わります。1日しか設置しなかったトラップと、1ヶ月間設置したトラップとでは、捕獲数は違うはず。そこで、設置期間の違うトラップの捕獲数を比較するため、捕獲指数を計算します。捕獲指数とは、1日(24時間)あたりに捕獲される害虫の数のことです。例えば、9月1日に設置して4日に回収し、95頭捕獲されたとします。設置日数は4日-1日=3日、捕獲指数は、95頭÷3日=31.67頭/日となります。

次に、トラップを設置するのは何日間が良いかについてお話しします。チャバネゴキブリの場合、トラップを設置した最初の数日で、かなり捕獲されます。そのため、正確に生息状況を知るためには、設置期間を3~4日間(長くて1週間)にすることが望まれます。例えばトラップを設置して最初の3日間で16頭捕獲されたとします。そのままトラップを置いておき、設置後90日して確認したら、さらに4頭捕獲され20頭になっていたとします。それぞれの捕獲指数を比較します。最初の3日間:16頭÷3日=5.33頭/日
最初から90日間:20頭÷90日=0.22頭/日となります。同じ場所なのに、設置期間によって、評価がまるで変わって来ます。実際には問題があるのに、問題なしと評価されることもあります。正確に生息状況を知るためには、設置期間を3~4日間(長くて1週間)にすることが望まれます。



環境衛生ダニ診断システム



むしむし探偵団®

第1弾 ダニシリーズ

*商標登録済
*特許第3875690号



1 「採取~同定~調査報告書」までを一体化した画期的なダニ診断システムです。

2 簡単に、短時間で、ダニの採取ができます。

3 同定と調査報告書作成は、生物調査専門社が行いますので正確です。

1ケース10キット入
1キット
ダニ検査用シート6枚/
調査項目記入シール6枚

0000160

使用例

かゆみの原因調査をしたいとき
ハウスダストに含まれるダニが気になったとき
住まいの環境の清潔度を確認したいとき など

環境衛生管理の重要な施設

学校、病院、事務所、交通機関 など

調査対象物

布団、枕、座布団、たたみ、カーペット、
ソファー、いす、ぬいぐるみ など

包装

1ケース 10キット入り(検体送付先シール10枚同梱)

1キットの内容
ダニ検査用シート 6枚 / 調査項目記入シール 6枚

検査結果のご報告について

お送りいただきました採取済み「ダニ検査用シート」を顕微鏡で調査し、ダニの種類、生息密度、防除の必要度などの検査結果を、約2週間で郵送ケース裏面に記載の取扱店へお届けします。(検体はお返しいたしません)

同定、調査報告書作成は調査専門社の『いきもの研究社』が行います。なお、さらに詳細な調査報告書を希望される場合は、別途オプションとさせていただきます。

ご注意

使用方法を遵守し、人体や動物にご使用しないでください。

水分、油分、ほこりやゴミの多いと思われる場所でのご使用は避けてください。

本品は冷暗所で保管してください。

当検査調査報告書は『いきもの研究社』受付の文書番号のないものは無効です。

『いきもの研究社』へ調査報告書の内容について問い合わせをする際は、必ず調査報告書に記載の文書番号を先に伝えてください。(受付文書番号がないと問い合わせにはお答えできませんので、予めご了承ください。)

ご依頼いただいたお客様への報告、提案は取扱店が責任を持っておこなってください。

特徴

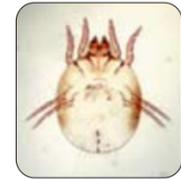
1. 簡単に短時間で、しかも調査対象物を傷めることなく、ダニを採取できます。
2. 同定と調査レポート作成は、生物調査専門の会社が行うので正確です。
3. 定性ではなく、限りなく定量で診断します。
4. 継続的なビジネスにつながる、定期的なモニタリングのツールです。
5. 採取した検体は、キットのはがき型梱包ケースをそのまま利用し、調査専門社へ郵送できるので大変便利です。
6. 今まで、ダニ同定に費やしていた手間と時間が、不要になります。

調査報告書サンプル例

〇〇消毒(株)様

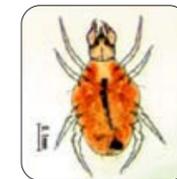
文書番号〇〇〇-〇〇〇〇〇〇〇〇
平成 〇年 〇月 〇日

むしむし探偵団 環境調査報告書



チリダニ類

普遍的に生息
喘息や鼻炎のアレルゲン



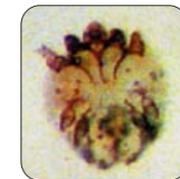
ツメダニ類

刺咬性
痒み、皮疹を起こす



トリサシダニ類

吸血性
痒み、皮疹を起こす



ヒゼンダニ類

皮膚に寄生
痒みをもたらす(疥癬症)

採取方法：ダニ検査用シートを対象物に『貼ってなでて剥す』を10回繰り返す、マス入り透明シートに貼り戻す。

算出方法：ダニの捕獲頭数×20を1m²当りの指数とする。(粘着シート面積×10回×20≒1m²)

安心 注意 環境改善や処置が必要

	採取日時	捕獲場所	チリダニ 捕獲指数	指数						
				0	<20	<40	<60	<80	<100	
1	〇年 〇月 〇日	リビング、カーペット	0 N/m ²							
2	〇年 〇月 〇日	書斎、床	160 N/m ²							
3	〇年 〇月 〇日	寝室、マクラ	20 N/m ²							
4	〇年 〇月 〇日	布団	0 N/m ²							
5	〇年 〇月 〇日	シーツ	0 N/m ²							
6			N/m ²							

調査専門社コメント

書斎の床面でのダニ汚染がひどい。
寝室の枕は、汚染の初期段階。

総評

取扱店担当者

ダニ検査用シートの使い方

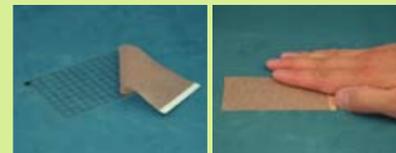
- ① ダニがいるか調査する対象(フローリング面、畳表、ソファー、布団、シーツ、枕など)をきめてください。この1キット(ダニ検査用シート6枚入り)で、合計6箇所を調査できます。(例えば床の場合、5m²あたり1枚の使用が目安です。)



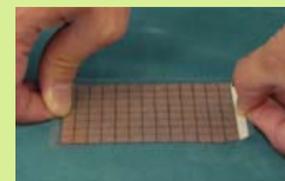
- ② ポリ袋からダニ検査用シートを取り出し、粘着面を保護するマス入り透明保護フィルムをはがします。(保護フィルムは採取後に必要ですから捨てないでください。)



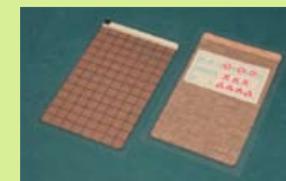
- ③ 調査箇所の表面にダニ検査用シートの粘着面を貼り付け、調査箇所と粘着面が密着する様に、上から手のひらで3回ほど軽くなでます。更に付近の別の場所を選び、1枚のダニ検査用シートで、1調査箇所周辺につき、10回同じ作業を繰り返します。



- ④ 採取が終わったダニ検査用シートは、粘着面をもとのように保護フィルムに貼り戻します。(貼り戻す際、シワにならないようにご注意ください。)



- ⑤ 調査項目記入シールに採取日、採取対象物、氏名を記入し、ダニ検査用シート裏面(粘着糊がついていない、薄茶色の側)に貼り付けます。(透明フィルム側には貼らないようにご注意ください。)



- ⑥ 6ヶ所分採取したダニ検査用シート6枚をまとめてポリ袋に入れ、郵送ケースに収納(両面テープのはくり紙をはがして封かん)し、表側に検体送付先シールと90円切手を貼り、裏側には取扱店の会社名、担当者名、住所を記入して、ポストに投函してください。



※ 郵送ケースの色は商品管理の都合上、製造ロットごとに変ります。

各国公私立大学長
各国公私立高等専門学校長
国立久里浜養護学校長 殿
各都道府県知事
各都道府県教育委員会教育長

15文科ス第402号
平成16年2月10日

文部科学省スポーツ・青少年局長
田中壮一郎

「学校環境衛生の基準」の改訂について(通知)

学校における環境衛生管理の徹底については、かねてから格段のご配慮をお願いしているところですが、このたび、近年の社会環境の変化等を踏まえ、「学校環境衛生の基準」を別紙のとおり改訂しました。

ついては、本基準に基づき、定期環境衛生検査、臨時環境衛生検査、日常点検及びそれらに基づく事後措置の徹底を図るとともに、下記の改訂の内容及び留意事項並びに平成14年2月5日付けで通知した13文科ス第411号の内容に御留意の上、学校環境衛生活動の適正な実施につき遺漏のないようお取り計らい願います。

なお、各都道府県教育委員会及び各都道府県知事におかれては、域内の市区町村教育委員会、所轄の学校及び学校法人に対しても周知徹底されるよう併せてお願いします。



※主な改訂内容の中で、「教室等の空気」については、以下のとおりとなりました。

3 「教室等の空気」について

- (1) 「検査事項」の「(1) 温熱及び空気清浄度」において、「二酸化窒素」を「検査事項」として盛り込み、「検査方法」として、「開放型燃焼器具を使用している教室」において行うこととしたこと。
「二酸化窒素」の「判定基準」について、「0.06ppm以下であることが望ましい」とし、「事後措置」として、「二酸化窒素が基準値を超えた場合で、室内外比で室内が室外を超える場合は、換気及び暖房方法等について改善を行う」こととしたこと。
- (2) 「検査事項」の「(2) ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物」において、「特に必要と認める場合」は、「エチルベンゼン」及び「スチレン」についても検査を行うこととし、これらの物質の「判定基準」について、「エチルベンゼン」は「 $3800\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.88ppm)以下であること」、「スチレン」は「 $220\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.05ppm)以下であること」としたこと。
- (3) 「検査事項」に「(4) ダニ又はダニアレルゲン」を新たに盛り込み、「検査方法」として、「保健室の寝具、カーペット敷きの教室等、ダニの発生しやすい場所」において行うこととしたこと。
「ダニ又はダニアレルゲン」の「判定基準」について、「ダニ数は $100\text{匹}/\text{m}^2$ 以下、又はこれと同等のアレルゲン量以下であること」とし、「事後措置」として、「掃除等の方法について改善等を行う」こととしたこと。



いきもの研究社 吉田 政弘氏

京都府立大学農学部農学科 応用昆虫学専攻 卒業
(元)大阪府立公衆衛生研究所 主任研究員(医動物)
屋内塵性ダニ類とアレルギー疾患について長年研究

現在

いきもの研究社 代表
武庫川女子大学薬学部 講師
(財)ビル管理教育センター 講師
(社)大阪府ベストコントロール協会 理事
日本環境動物昆虫学会 評議員

ダニが見つかった時は、吉田先生推薦の、

屋内塵性ダニ 増殖抑制・駆除剤 業務用
フマキラーND-03



◆製品規格、有効成分

販売名：ノミ・ダニフマキラー3
(医薬部外品)

内容量：2L×2本
※1本で約500m²(約150坪)使用可能

使用量：1m²あたり4ml

有効成分：フェノトリン

溶剤：エタノール

(危険等級II)

火気厳禁

◆効能・効果

屋内塵性ダニ類の増殖抑制及び駆除、
イエダニ及びノミの駆除

◆用法・用量

屋内塵性ダニ類には、タタミ、カーペット等の表面に20～30cmの距離から、1m²あたり約4mlの割合で噴霧します。イエダニ、ノミおよび異常繁殖した屋内塵性ダニ類には、直接噴霧します。

◆特徴◆

- ・屋内塵性ダニとして承認を受けた医薬部外品です。
- ・微香性ですが、匂いは短時間で消えます。この匂いは有効成分の香りです。
- ・速乾性なので短時間で乾きます。
- ・アルコールベースなので処理面を汚したり、ベタツキもありません。
- ・タタミ、カーペット、ソファ(布製)、ベッドのマットレスなどに直接噴霧が可能です。
- ・ペットを飼っている家庭で発生し問題となるノミやイエダニも駆除できます。

ナカさんにおまかせ!

使用量が1m²あたり4mlです。1本(2L)で、約500m²使用可能です。
使用量が少ないため、細かな霧で噴霧する必要があります。B&Gエクステンダーバンとの併用をお勧めします。
なお、B&Gエクステンダーバンを使用する際は、前に使用した薬剤が残らないように、しっかり洗ってご使用下さい。

